



森ボラ 通信

NPO 法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8 ラルズ生活研究センター

TEL (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

■ 活動報告

◆ニホンザリガニ探し大作戦

6月15日午後親子森知り隊活動の一部として澄川環境林内を流れる右精進川上流部、D2、D4区において建築環境研究所の酒巻さん、竹門さん、澤田さんそれに北大文学部大学院の田中一典先生の指導の下、小学生8名とその家族それに協会会員も加わり30名前後で実施しました。

以前からこの森にニホンザリガニがいるのかいないのか話題になり今年の冬頃から搜索プランを立てようやく今日にたどり着きました。

さわやかな新緑の中それぞれの身支度をして網やバケツ持参で現地に向かいます。D4区の急な斜面を降りて谷間の源頭部に入りわずかなせせらぎをのぞき込み枯葉や倒木をとりぞいのザリガニ探し。あたりは意外に暗く水面が反射して光り水底が良く見えない状況の中悪戦苦闘の末7匹見つけました。同様にD2区でも4匹見つけたり空振りではなくて大喜びでした。体重、体長を測りじっくり眺めて川に戻しました。参考までに多く見つかったD4区は気温22.1℃水温14.8℃PH7.3電気伝導度123でした。ザリガニはきれいな水の冷たい方へ移動するそうです。

涼しくて虫が出なくて幸いでした。カエルやセミの抜け殻を探しながら元気に戻りました。

ニホンザリガニは今や絶滅危惧種で貴重な存在でそれを田中先生が確認してくれました。いくつか半信半疑の作業が無駄にならず安心しました。

澄川の森に蛍やニホンザリガニが生育しているということは自然環境に恵まれている証です。森造りと同じ自然環境を守ること森ボラの大事な役目です。

指導して頂いた先生方に深く感謝いたします。ありがとうございました。(文・加藤)



◆第3回親子森林教室に参加して

今回の親子森林教室のテーマは「木の調査・草刈り」です。木の調査をする対象のC2区へ移動して手鎌で下草刈りを体験。その後来年1月に伐採する木を選木し、ナンバリング、胸高周長と高さを測りました。午後からは前述の「ニホンザリガニ探し大作戦」に希望者だけが参加して大いに盛り上がりました。以下参加者の感想文です。(事務局)

森しり隊員:早稲田良太(わせだりょうた)

森にも普通の木だけではなくほかの木のじゃまになっている木やもう成長が出来なくなってしまう木もあるということが知れた。草刈りやザリガニ探しも楽しかった。

ニホンザリガニはもう少し水が多い所にすんでいるのだと思っていたし、ほとんどいないと思っていたけれど思ったよりも数が多かった。



保護者:早稲田亜希子(わせだあきこ)

草刈りはササが堅く思うように進みませんでしたが、刈った場所がすっきりと明るくなり、稚樹がたくさん顔を出して、気持ちがよかったです。森の調査では木の高さを測るのが難しく、みんなで推測してみても、冬が楽しみになりました。そしてザリガニ探しもとても面白くて親子で夢中になってしまいました。毎回、普段出来ないような貴重な体験をさせていただき、本当に感謝です。次回も楽しみにしています。

森しり隊員:谷江寛太(たにえかんた)

ニホンザリガニは初めて見ました。絶滅危惧種なのも知らなかったです。思ったより小さかった。

保護者:谷江彩也子(たにえあやこ)

ニホンザリガニは今ではほぼ見つけられないと思っていました。こんな近くの森で見つけられたのは驚きでした。豊かな森を守ってくれている皆さんのお陰ですね。ありがとうございます。



◆支笏湖水明郷定点観測

6月26日に水明郷の森で恒例の定点観測を行い、10年前の写真と比較すると樹木の生長が歴然としています。奥の方が見えませんね！ 今後も見守っていききたいと思います。(文/写真・事務局)



◆CSR 活動に参加して

[寄稿者: (株)じょうてつ 不動産事業部 開発・販売グループ 橋本 咲悠]

当社が CSR 活動を行っていることは入社前から知っており興味がありましたが、入社してから3ヶ月経たずにこの活動に参加できたことは、とても貴重な経験になりました。

今回の活動内容は主に2つあり、草刈りと、間伐材を利用したクラフト体験をしました。草刈りでは、今までに植樹した場所の下刈りをしました。私は手鎌を初めて触ったので、はじめは苦戦しましたが、慣れた頃には木の周りがすっきりとしていくことに爽快感を感じていました。自分が植樹した木ではありませんが、木が成長しているのを見て嬉しく思い、これからの成長を願う気持ちも込めながら草刈りができました。

クラフト体験では、バードコール制作と自由制作をしました。間伐材を利用することで無駄なく、自然の中でアイデアを絞りながら楽しく制作できました。

この活動に参加する前は、「自然を感じることができて楽しそう。」という気持ちだけで、参加しましたが、活動を通し、誰かが環境を保全しているのを見てだけでなく、自分自身も環境保全に参画していきたいという気持ちに変化しました。一度のみの活動で終わらず、これからの秋の植樹や冬の活動にも積極的に参加したいです。



■ 澄川の自然 71

オニノヤガラ(鬼矢柄・ラン科)

7月1日・A3区整理伐の作業中に見つけました。

何年もかかって厚く積もった落葉の層を突き破り、ニョキッと立っています。葉緑素を持たない腐生植物。葉は退化していてその上部に「ひょっこ」と思わせる花を沢山つけています。

地下にじゃがいもの様な根茎があり、その中にナラタケの菌糸を取り込んで栄養にしている。この養分をエネルギーとして生長し、花を咲かせるが翌年以降はしばらく花を付けない。種子は微粉末状で風散布している。

根茎を乾燥させたものは天麻と呼ばれる貴重な漢方薬になります。日本産の物は商品として出荷されていない様で、中国では人工栽培が可能になり栽培品の生産が増加している様です。

(写真/文・西野(澄))



■今月の幹事会

出席者(7/9):老田、大窪、荻田、葛西、樫棒、加藤、平、西野(澄)、早坂、松藤、丸尾、矢野

1. 2025 年 8 月、9 月活動スケジュール(8 月幹事会 8/6(水)):了承
2. 2025 年度 6 月会計報告:了承
3. 2025 年度 6 月多面活動報告:多面事務局主催の技能安全講習の受講生募集。了承
4. 日本道路 CSR 活動計画:了承
5. (株)じょうてつ 110 周年行事:10 月 18 日予定、110 本の植樹、クラフト作り。了承
6. 復興の森(独自)今後の活動:現地にて活動参加者により確認。今後も見守りたい。除伐、間伐、枝打ちなどの作業を石狩管理署の指導を受けて実施。新たな協定が必要。了承
7. 子どもゆめ基金実績報告:令和 6 年度助成金決定。了承
8. 現場報告
 - ・整理伐状況:了承
 - ・水明郷ハルニレの食害:3 区にて直径 20 cm以上のハルニレが全周かわはぎ被害を受けて枯死。対策は今のところ考えられない。了承
9. その他
 - ・森ボラホームページ進捗報告:6 月の訪問数 2,314 件。東京都小笠原村から体験希望有り。了承
 - ・機器修理依頼:刈払い機、チェーンソー各 1 台を山本機械に修理依頼。了承

■活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
6 月 18 日(水)	野幌道有林	8	85 小班下草刈り
6 月 20 日(金)	澄川	10	(株)じょうてつ CSR 支援(下草刈り、クラフト作り)、看板支柱作り、駐車場草刈り、コクワ棚管理
6 月 23 日(月)	澄川	9	澄川南小 3 年自然観察会支援、草刈り
6 月 25 日(水)	支笏湖水明郷の森	11	植栽列坪刈り、作業道草刈り、イヌエンジェ除伐の選木
6 月 26 日(木)		11	成長調査列筋刈り、作業道草刈り、定点観測、ツリシキター回収
6 月 28 日(土)	澄川	14	A-3 整理伐対象木選木、作業道草刈り、ホダ場管理(天地返し)
7 月 1 日(火)	澄川	11	選木、運材、作業道草刈り、ホダ場管理、機器整備
7 月 3 日(木)	有明第二	5	倒木処理、植栽地草刈り、防獣網内枝処理
7 月 5 日(土)	澄川	11	選木、運材
7 月 7 日(月)	支笏湖ぶんぶんの森	8	作業道草刈り、標準列成長調査
7 月 8 日(火)	支笏湖復興の森(独自)	8	作業道草刈り、標準列成長調査
7 月 9 日(水)	ラルズビル地下 1 階	12	幹事会
7 月 12 日(土)	澄川	9	第 4 回親子森林教室(コウモリ・ホタル観察)
7 月 14 日(月)	澄川	12	澄川南小 4 年観察会支援、A-2 整理伐対象木選木、マキ作り